生産性向上支援訓練カリキュラムシート

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社パワートレイン

B. 組織マネジメント		RPAを活用した業務効率化・コスト削減
	組織力強化	

コースのねらい	業務の効率化とコスト削減をめざして、RPAの技術概要や活用事例、活用検討にあたってのポイントを理解し、RPAを活用した自社業務の課題解決策立案に繋げることができる能力を習得する。

		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間（H）
講義内容	1	業務を自動化するRPA （Robotic Process Automation）	（1）生産性の向上の基礎 RPAは生産性向上を支援するためのツールの一つです。以前の講義（AI活用等）で学んだ内容を踏まえ、生産性向上について振り返ります。その上でRPAがどのように業務自動化を加速させるかを解説し、AIとの差などの観点も含め、RPAの重要性を理解します。	0.5
			（2）RPAの概要と最新の導入事例 RPAの概要とその導入事例をお伝えします。RPAの技術概要について、AI統合型RPAの登場やノーコードツールの普及といった最新の進展も交えて説明し、中小企業における新たな導入事例も紹介します。	1.0
	2	RPAを活用した業務効率化とコスト削減策の立案	（1）RPAに触れてみよう【演習あり】 Microsoftが提供している無料で使えるRPAツール「デスクトップ版のPower Automate」を利用して、RPAの操作に関し、課題を各自で解いていきます。基本動作とシナリオの作り方、変数や条件分岐、繰り返し処理など、初歩的な内容を入れつつ、最終的には複数のアプリケーションやWebブラウザに跨った処理まで行えるようにします。比較的わかりやすい課題に多く触れることで、RPAへの苦手意識をなくし、あわせてRPAの考え方を理解します。	2.5
			（2）RPA導入前の業務改善と課題解決順序 理解したRPAを実際の業務にどう活用していくかを考える前提として、まず業務課題そのものを整理することの重要性を学びます。メンテナンスコストの増大なども踏まえて解説し、課題を解決する前にRPAを導入するのではなく、段階的に進める重要性を理解します。	1.0
			（3）RPA導入の全体像とコスト削減策立案【演習あり】 実際に自社でRPAを導入する際の、業務プロセスの可視化等、課題の見つけ方、検討の方法、導入プロセスを理解します。RPAに適した業務の見つけ方を学んだ上で、グループワークでは、適性業務のリストアップと導入手順を検討します。最終的に、自社でRPAを導入するための具体的な検討プロセスを描くことを目指します。	1.0
			合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント

RPAは概念だけでは理解しづらく、実務への応用も難しい分野です。
本訓練ではデモンストレーションとグループワークを通じて体験しながら、活用イメージを具体化できる構成としています。
業務改善の流れとRPA導入のポイントを押さえ、導入プロセスを実感できる内容としました。